

平成 22 年 10 月 4 日

各位

会 社 名 株式会社市進ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 田代 英壽
 (JASDAQ コード番号 4645)
 問合せ先 執行役員企画部部長 竹内 厚
 (TEL 047-335-2888)

平成 23 年 2 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異に関するお知らせ

平成 22 年 4 月 16 日に公表いたしました平成 23 年 2 月期第 2 四半期累計期間(平成 22 年 3 月 1 日から平成 22 年 8 月 31 日)の業績予想との実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 連結

平成 23 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間の業績との差異(平成 22 年 3 月 1 日～平成 22 年 8 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	9,595	19	21	△160	△18 円 71 銭
今回実績値(B)	9,358	△116	△99	△109	△12 円 75 銭
増減額(B-A)	△236	△135	△120	50	—
増減率(%)	△2.4	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 22 年 2 月期第 2 四半期)	9,691	△48	△43	△113	△13 円 30 銭

2. 差異の理由

売上高におきましては、ここ数年来、教育サービス業界全体の傾向として集団授業の生徒数は減少傾向にある中、当社グループにおきましても集団授業の売上高は減少傾向にあります。当社グループでは、これを個別授業や映像授業の売上高でカバーするための施策、「学びMAX(集団授業・個別授業・映像授業・通信添削など選べる総合教育システム)」により、生徒一人ひとりに最適な学習方法を提供し、顧客満足度を上げることにより、集客の増加を目指しております。

個別・映像授業の生徒数は、グループ内、加盟教室ともに順調に増加しておりますが、当第2四半期連結累計期間におきましては、集団授業の生徒数減少をカバーしきれない状況で推移いたしました。一方、経費面におきましては、広告宣伝費や人件費のみではなく、印刷費や消耗品などの細かな経費削減をさらに実施しました。

以上により、第2四半期連結累計期間の業績数値につきまして、売上高は 9,358 百万円(前年同四半期売上高 9,691 百万円)、営業損失は 116 百万円(前年同四半期営業損失 48 百万円)、経常損失は 99 百万円(前年同四半期経常損失 43 百万円)、四半期純損失は 109 百万円(前年同四半期純損失 113 百万円)となりました。四半期純損失が業績予想に比べ改善された主な理由は、減損損失などの特別損失が予想よりも抑止されたことにあります。

なお、今後、学びMAXによる個別授業や映像授業の売上高は伸長することが見込まれ、さらに大幅な経費削減も計画しているため、通期業績予想につきましては、前回発表予想に変更はありません。

(注)上記に記載した予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上